

# 次期参院選推薦候補は見送り



平成14年  
10月7日  
速報

発行所  
広島県歯科医師連  
広島市中区宝町5-30  
TEL (082) 241-8020  
編集兼発行人 山本忠昭



## 日歯連盟評議員会で 執行部案が否決

第八十六回日歯連盟評議員会が、九月二十日(金)午後一時から東京の新歯科医師会館一階「大会議室」で開催された。河野副会長の開会の辞の後、白田会長から「受診抑制につながりかねない問題には、しっかりと



挨拶する白田会長

対応する。本日は平成十三年度の決算を始め、次期参院選単一候補者の推薦等の議案を上げているのでよろしく審議をお願いする」と挨拶があった。次に大島参議と中原参議から国会報告があった。続いて報告事項の後、議事事項に入った。

第一号議案 平成十三年 度一般会計歳入歳出決算  
第二号議案 平成十三年 度政治活動運営会計 歳入歳出決算  
第三号議案 平成十四年 度一般会計収支補正 予算  
第四号議案 平成十四年 度政治活動運営会計 収支補正予算

以上は挙手多数により可決承認された。また新規入会の促進などを図るため連盟会費の値下げを求める緊急動議

が提出され、賛成多数で会費値下げが決定した。額などの詳細は執行部に一任された。

第五号議案 次期参議院比例代表選挙単一候補者の推薦について

これについて執行部から「選考委員会から笹井氏を推薦する答申を受けて常任理事会・理事会合同会議で単一候補者に推薦することを決定した」と説明があった。これに対し、「日歯連盟組織の立て直しが急務で議案を取り下げよ」「大島議員から笹井氏にバトンタッチする十分な理由がない上に業界代表で出しているながら政党政治にはめられるなら応援もしくしい」等反対意見が出た。

選挙賛成派と反対派の意見は終了の定刻を一時間過ぎてそのまま採決に入った。その結果、笹井氏を単一候補とするものの賛成が三十一票に対し反対が三十二票の一票差で執行部案は否決された。

この時点で大島参議は日歯連盟の内部での候補者推薦で推薦を辞退しており、次期参院選は単一候補者が立たない結果となった。

最後に柳澤副会長の閉会の辞で終了した。

## 連盟支部だより 広島市支部

「政治を語る会」開催  
九月二十七日(金)午後七時三十分より広島歯科医師国保会館二階「研修室」にて標記の会が連盟広島市支部の主催で開催された。この会は今日の連盟員の意識、認識の多様化によって、我々の組織と政治との関わりは従来とは違った様相を呈している。諸問題の解決をするにあたり対経費効果、効率を鑑みた場合、政治力が十分に作動していないことへの苛立ち、閉塞感あるいは絶望感さえも抱いているが、その一方で、我々が難局に直面した際に、その打開策として政治的解決手段に委ねなければならぬ現実も数多い。今回は連盟員が政治を身近に体験して日頃の政治への思いを議員の方々や率直に語り合い、よりよい連盟活動の展望を考える機会になればという思いから企画された。

連盟広島市支部の島末一則の司会で進行され、①地方の活性化 ②日本の経済について ③日本の医療制度を大きなテーマ

として、国政・県政・市政の各議員より忌憚のない意見が数多く聞かれた。広島県歯科医師連盟からも本山栄荘会長、佐藤孜副会長、三戸斌士理事長が出席され、本山会長は「需給問題については大学の定員削減など有効な手段をとること、特措法については引き続き継続すること。また医療の現場に株式会社が入ることは医療特区導入には絶対反対の立場をとる」とこを強く要望された。また小松昭紀支部長より「政治離れが叫ばれて久しいが、まずは政治を身近に感じてほしいとの主旨で本会を企画した。今



発言をする小松支部長

回は密度の高い意見が多く出され、まとめるのは困難だが、回を重ねていくに従っておのずから有意義な方向に進んでいくものと思われる」との発言があった。また会員からも多くの意見や質問も出たが、予定の二時間を大幅に超え午後九時五十分、森本克廣副支部長の閉会の辞で終了した。参加した連盟員は七十二名であった。

尚、出席された議員は次の通りである。

岸田文雄支部科学副大臣  
溝手頭正参議院議員  
林 正夫県議会議員  
中本隆志県議会議員  
砂原克規県議会議員  
平野博昭市議会議長  
中本 弘市議会議員  
永田雅紀市議会議員